

## 平成 19 年度 第 1 回事前調査検討専門部会／#8 SSP 事前打ち合わせ 議事録 (案)

日時：2007 年 7 月 10 日 (火) 14:00～17:15

場所：海洋研究開発機構 東京事務所 大会議室

出席者 (敬称略) ☆兼 SSP 委員, \*兼 IODP 執行部担当, ○部会長

専門部会委員：○芦 寿一郎 (東京大学), 荒井晃作 (産業技術総合研究所),

岡野 正 (海洋研究開発機構), 加藤幸弘 (海上保安庁), \*小平秀一 (海洋研究開発機構),

辻 喜弘 (石油天然ガス・金属鉱物資源機構), ☆日野亮太 (東北大学),

☆三浦誠一 (海洋研究開発機構), ☆矢口良一 (三井石油開発), 山本啓之 (海洋研究開発機構)

SSP 委員：金松敏也 (海洋研究開発機構), 白井正明 (東京大学), 田中明子 (産業技術総合研究所)

事務局：加賀谷一茶

欠席者：中西正男 (千葉大学) 専門部会委員, 松田博貴 (熊本大学) SSP 委員：

### 報 告

#### 1. プロポーザルの提出状況【事務局】

#### 2. 各機関による最近の調査と今後の予定

##### ・CDEX【岡野委員】

「うらしま」を用いた沖縄トラフにおける調査および相模湾での調査予定, 「かいよう」を用いた相模湾・房総沖・下北半島東方沖での採泥・潮流調査予定, 「かいいい」を用いた相模湾での MCS 調査予定, 「かいよう」を用いた沖縄トラフでの採泥調査予定, について報告があった。

##### ・IFREE【三浦委員】

「かいいい」を用いた航海に関して, 伊豆・小笠原における構造探査 (OBS・MCS) 3 航海と南海トラフ, 伊豆・小笠原域における調査予定, MCS システムの更新予定についての報告があった。

「かいよう」を用いた航海に関して, プチスポット・IBM の調査について報告があった。

##### ・IFREE【金松委員】

JAMSTEC 深海調査研究の公募について紹介があった。試料保管のルール策定中で来年度より適用予定 (コアは高知, 岩石は横須賀で保管)。「しんかい 6500」のハッチの不具合のため, 9 月までの潜航調査が中止される (山本委員)。来年度以降, 「みらい」を含めて「海洋調査研究課題の募集」が一本化して行われる。

##### ・海洋情報部【加藤委員】

明洋・海洋の測深装置が EM302 (30kHz) に更新, 伊豆・小笠原～四国海盆地における地形, 地殻構造探査について報告があった。

##### ・JOGMEC【辻委員】

基礎物理探査に関して, 経済産業省より国内石油天然ガス基礎調査の受託 (2D 1 件, 3D 1 件) があり現在検討作業中であることの報告があった。探査域が他の機関の調査海域とちがう危険性が

あるのではないかと（小平委員）。調査予定・結果とも最近では情報管理が厳しく、情報公開の流れに逆行しているのではないかと（岡野委員）。調査予定の情報を提供してもらい、問題がないかどうか検討する（辻委員）。

・産総研【荒井委員】

今年度の第2白嶺の調査予定と来年度以降の沖縄（屋久島の南から）周辺の海洋地質調査（グラブ採泥とサイスミック）の予定について紹介があった。

・海洋研【白井委員】

淡青丸による天草沖のMCS・採泥調査、白鳳丸によるパレスベラ海盆および南極海の物理探査・ドレッジの調査予定について紹介があった。

・東北大【日野委員】

日本海溝におけるMCS・海底地震計を用いた調査の予定について紹介があった。

・民間海洋調査【矢口委員】

帝国石油ほかによる常磐沖海域での試掘調査実施の報告があった。

3. 前回 SSP 報告【矢口委員】

日本人がリードプロポーネントのプロポーザルの審議の現状について報告があった。ランクの意味およびSSEP, SPC, EPSPでのプロポーザルの評価、流れについて確認を行なった。

4. 事前調査に関する広報【芦部会長】

事前調査専門部会によるプロポーザル支援ウェブページの試作状況について紹介があった。公募型の前調査の応募方法、航海計画情報を盛り込み完成させ年内にJ-DESC HPに公開予定。

## 審 議

1. 深海科学研究推進のための地下構造研究の進め方について【小平委員】

再来年度以降のIFREEによるIODP掘削の推進に関わる取り組みと測線提案型航海の対象海域の選定方法、およびデータ取得支援の案について紹介された。測線提案型航海のうち、IFREEとの共同研究に基づく調査についてはデータ処理・解析まで含まれる。J-DESCにおける事前調査プロポーザルの推薦について、執行部・科学推進専門部会と今後検討してゆく。

2. 事前調査支援アンケートについて【芦部会長】

SSP, SSEPで審議中の日本から提出されたプロポーザルについて、事前調査希望の具体案のアンケート調査を実施し、回答のあった5件について研究概要と事前調査案が紹介された。掘削事前調査に用いることのできる公募型研究には、JAMSTEC深海調査研究、海洋研の淡青丸・白鳳丸共同利用研究があるが、それぞれのプロポーザルの目的達成に合致した公募へ申請して貰うように関係委員および部会長よりプロポーネントへ連絡することとなった。また、アンケート対象となっていない計画実施直前のプロポーザルについても、掘削に必要な事前調査データが十分で

あるかどうかの検討が必要である。実際に1件のプロポーザルにおいて地震探査データが不十分である可能性があり、部会の助言により調査の早急な実施が必要であることを確認した。

### 3. SSPに関する打ち合わせ

次回 SSP 開催場所候補について検討を行なった。JAMSTEC（横浜・高知・沖縄）での開催を検討することとなった（対応者：金松委員）。国際委員候補者の推薦についてはメールで部会長より依頼する。

### 4. その他

- ・田沢委員の後任について【芦部会長】

民間海洋調査についての情報は、次回より矢口委員に報告して貰いたい。

- ・産業界科学計画グループ（IIS-PPG）ワークショップ開催について【辻委員】

7月26日（木）に開催のワークショップについての紹介があった。